

レセ電通信医 24005 号
平成 24 年 4 月 24 日

レセプト電算処理システム関係メーカー等 各位

支払基金システム部
国保中央会レセプト電算部

平成 24 年診療報酬改定に伴う記録方法の変更について

平成 24 年診療報酬改定に伴い、オンライン又は光ディスク等による請求に係る記録条件仕様（DPC用）が改正されたところですが、改正点に係る記録方法は、下記のとおりとなりますので、お知らせします。

記

1 診療関連レコード（SKレコード）の「区分番号」の記録について【DPC】

診療関連レコード（SKレコード）の「区分番号」の最大バイト数が7桁から10桁に変更されたところですが、「区分番号」の記録方法は次の表のとおりとなります。

区分番号	手術名称	診療関連レコードの区分番号の記録	
		平成24年3月診療分まで	平成24年4月診療分以降
K142 221	脊椎側彎症手術矯正術 初回挿入	K142221	K142-221
K142 220	脊椎側彎症手術矯正術 交換術	K142220	K142-220
K142 228	脊椎側彎症手術矯正術 伸展術	K142228	K142-228

平成 24 年 4 月診療分以降については「 - （ハイフン）」を含め 8 桁で記録します。
平成 24 年 3 月診療分までは「 - （ハイフン）」を除き 7 桁で記録します。

2 患者基礎レコード（KKレコード）の「入院時年齢」及び「入院時月齢」の記録について【DPC】

患者基礎レコード（KKレコード）の「入院時月齢」に係る記録については、次の表のとおりとなります。

診断群分類区分の 年齢要件又は月齢要件	患者年齢	入院時年齢	入院時月齢
あり	1歳以上	記録する	記録しない
	1歳未満	0	0~11
なし	1歳以上	記録は任意	記録しない
	1歳未満	0	0~11
		0	記録しない
		記録しない	記録しない

平成 24 年 3 月診療以前分に入院時月齢を記録した場合、L 2 エラーとなります。

「入院時年齢」と「入院時月齢」の記録については、表中の組合せ以外は L 2 エラー又は L 3 エラーとなります。

入院時月齢を記録する場合は、入院時年齢に「0」の記録が必須となります。